

科目ナンバリング		U-LAS05 10007 LJ23							
授業科目名 ＜英訳＞		人文地理学 Human Geography				担当者所属 職名・氏名		人間・環境学研究科 教授 山村 亜希	
群	人文・社会科学科目群		分野(分類)	地域・文化(基礎)			使用言語	日本語	
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義（対面授業科目）		
開講年度・ 開講期	2025・前期		曜時限	木3		配当学年	全回生	対象学生	全学向
【授業の概要・目的】									
人文地理学は、現代・過去における諸事象が、なぜその立地で、その形態で成立／展開するのかを、空間という土台の上で考える学問である。それは「地（場所・空間・景観・地域）」の「理（ことわり・しくみ・成り立ち）」を解くことでもある。本授業の目的は、このような人文地理学の「地」の「理」を解く視点と方法を理解することにある。本授業では、様々な地域・時代の多様な現象を、人文地理学の視点と方法から解く考察プロセスを解説する。そのとき、地形図の読図やグループでのディスカッションも併せて行う。 高校で地理を履修していなくても良いが、地理・地図・歴史への興味関心は持って欲しい。地形図への着色作業や地名探しなどの手作業を面倒がらず、積極的に地図に向き合う態度を期待する。									
【到達目標】									
人文地理学の基本的な視点・方法を理解し、多様な人文現象を地理学的にとらえる発想力を読図を通して養う。									
【授業計画と内容】									
授業の進行状況に応じて、順番やテーマを変更することもある。									
第1回 授業の概要 第2回 大都市郊外の空間と社会－愛知県長久手市－ 第3回 地図から読む歴史－京都－ 第4回 京都郊外の地形図を読む－京都府向日市－ 第5回 京大生の出身地の地理的分布を考える 第6回 読図からフィールドへ－石川県小松市－ 第7・8回 日本史を地形図と読む－桶狭間の合戦－ 第9回 期末レポートとその参考例の読図 第10回 城下町から現代都市へ－石川県金沢市－ 第11回 鉄道と住宅地開発－京都府向日市－ 第12回 温泉観光都市の地形図読図 第13回 散村の形成と維持－富山県砺波平野－ 第14回 総括 第15回 フィードバック（フィードバック期間中に行う）									
【履修要件】									
特になし									

人文地理学(2)へ続く↓↓↓

人文地理学(2)

[成績評価の方法・観点]

期末レポート60%、平常点（授業への参加状況、小テスト）40%

[教科書]

毎回、地図を中心とした大判のプリント（A3サイズ・2枚程度）を配布する。複数回で連続で使い、前回の読図・着色作業を前提として講義を続ける場合も多いので、前回分も持参すること（フアイリングして持参がベター）。

[参考書等]

（参考書）
授業中に紹介する

[授業外学修（予習・復習）等]

授業後に授業を振り返りながら、小テストに回答することが復習となる。また、授業中に終了しなかった読図・着色作業を行いつつ、授業内容を振り返る。

[その他（オフィスアワー等）]

授業中に地図や図表に着色するなどの作業を行うことがあるので、色鉛筆・マーカー（赤・青・黄色・緑の4色）や色ペン複数色を持参する。

[主要授業科目（学部・学科名）]